

[高吐]FEC100(術前、術後)療法

外科 管理番号 D14

処方医:

適応: 乳がん(術前、術後 進行・再発)

3週を1コースとして4~6コース繰り返す

Table with 24 columns (days) and 4 rows (Epi, Endo, Fluoro, and empty row) showing treatment schedule with black dots indicating administration days.

身長: [] cm 体重: [] kg 体表面積 [] m²

[投与スケジュール] ([] クール目)

心電図チェック(投与毎)

Day1([] 月 [] 日)

Main treatment table with columns for '本管' (Main Line) and '側管' (Side Line), listing drug names, dosages, and administration methods.

プライミング
プライミング

DAY2([] 月 [] 日)~3([] 月 [] 日)

Table for Day 2-3 treatment: 薬剤名 (Drug Name), 投与量 (Dosage), and 1x朝食後 (1x after breakfast).

[適正使用基準]

- 1. 出血性膀胱炎がない
2. 口内炎がない
3. ペントスタチンと併用していない
4. 重症感染症またはその疑いがない
5. アトラサイクリン系の累積投与量に注意すること(総投与量が550mg/m²以下である)
6. TS-1が投与されていないまたは投与中止後7日以上経っている
7. 肝障害がない
8. 腎障害がない
9. 胸水・腹水等がない
10. 心疾患の既往がない
11. 心機能の評価
①不整脈がなく、心電図も非特異的T波変化までである。
②心駆出率(ejection fraction;EF)が十分である(50%以上)
7. PS(Performance Status)が0~2である
8. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

[DLF]

エンドキサン 骨髄抑制および出血性膀胱炎
塩酸エピルビシン 心毒性および骨髄抑制
フルオロウラシル 白血球減少 口内炎、下痢
エンドキサン (今回の投与量) (累積投与量) mg mg
塩酸エピルビシン (今回の投与量) (累積投与量) mg mg
フルオロウラシル (今回の投与量) (累積投与量) mg mg

Table for laboratory tests: 血液一般検査 (WBC, Neut, PLT, HGB) and 血清生化学検査 (GOT, GPT, Tbil, BUN, Cr) with values and reference ranges.

エンドキサン 肝腎障害時用量調節

塩酸エピルビシン 肝障害時用量調節
フルオロウラシル 肝障害時用量調節

[肝・腎機能を考慮した投与量の調節]

エンドキサン

TBil	<1.5	1.5~3.0	3.0~5.0	
GOT	<60	60~180	180<	
投与量	100%	50%	25%	中止

Ccr>50	Ccr10~50	Ccr<10
減量なし	25%減量	0%減量

エピルビシン

TBIL	または AST	EPI投与量
1. 2~3	または2~4ULN	50%減量
3. 1以上	4ULN以上	75%減量

[フルオロウラシル]

TBIL <5	100%
TBIL >5	中止

[DLFを除く重大な副作用]

《エンドキサン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔血圧低下・呼吸困難・喘鳴・蕁麻疹・不快感等〕
- ・イレウス、胃腸出血〔腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等〕
- ・間質性肺炎、肺繊維症〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・心筋障害、心不全〔胸痛・呼吸困難・むくみ等〕
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症〔紅斑・発熱・関節痛・下痢等〕
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)〔むくみ・痙攣・意識障害等〕

《塩酸エピルビシン》

- ・ショック〔呼吸不全・血圧低下・チアノーゼ等〕
- ・萎縮膀胱(膀胱内注入時)

《フルオロウラシル》

- ・脱水症状〔激しい下痢等〕
- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎〔激しい腹痛・下痢等〕
- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等〕
- ・白質脳症〔歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等〕
- ・うつ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症〔疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全〔食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等〕
- ・消化管潰瘍〔食欲不振・腹痛・吐血・下血等〕
- ・急性膵炎〔腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等〕
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) * 肝動脈内投与時〔腹痛・発熱・黄疸等〕
- ・手足症候群〔手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等〕
- ・臭覚障害、嗅覚脱失(長期投与症例に多い)